



私たちは、水が育んだ地域のすばらしさを学び、 守っていきます！

早通小学校

わたしたちの早通 ～環境の視点から地域を見つめる～

NPO法人ボランティア亀田「ドジョウプロジェクト」の活動に参加！



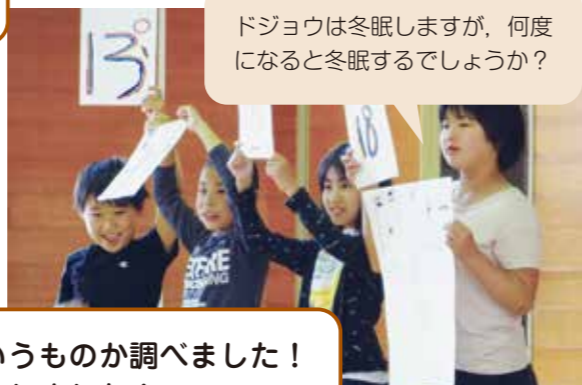
ドジョウはどれくらい大きくなるんですか？

ドジョウの天敵って何かな？

学校にあるピオトープをもとに、水槽の環境を整え、ドジョウにとってよい環境作りを行いました！



ドジョウは強い生き物だけど、長く生きていくためには、きれいな水やエサが必要だね。



ドジョウは冬眠しますが、何度になると冬眠するのでしょうか？

ドジョウの生態やドジョウにとってよい環境とはどういうものか調べました！調べたことを全校や保護者の前でクイズ形式にして発表しました！



バックテスト！水はすぐに汚れちゃうんだね。



ビュー福島潟，環境と人間のふれあい館にて，水の環境を整えることは魚や鳥だけでなく，人間にとってもとても大切だということを学びました。

食物連鎖がキーワードだね。



新漏水俣病になると視界も狭くなるのか。

私たちの住む亀田郷は、阿賀野川と信濃川に挟まれ、昔は「芦沼」「地図にない湖」と呼ばれるほど芦の生い茂る、水はけの悪い土地でした。そのような土地を、多くの人の努力で現在の素晴らしい郷土にしてきた歴史があります。その歴史を学習していくとともに環境に目を向け、亀田で昔有名だったドジョウや今ある私たち人間がこれからも安心して生活できる環境にしていくためにはどうしたらよいかを考えていきました。水や環境を大切にするために自分たちにできることをしていきます！

わたしたちの早通 ～農業の視点から地域を見つめる～

亀田郷は、信濃川・小阿賀野川・阿賀野川に囲まれた低地で水はけが悪く、人々は洪水に悩まされ水との戦いをやってきた土地です。しかし、今では稲作を中心に野菜・果樹・花木など、農業が盛んな地域になっています。稲作体験や見学を通して、亀田郷や先人たちの苦勞について調べ考えました。



早通はこの辺りになるよ。



わあ、すごい勢いだね。これで発電するのか。

早出川ダムでダムの役割を学ぶ



ダムには、発電以外に、洪水を減らしたり、農業用水に利用したりする役割があるんだよ。ダムがその役割をしっかりと果たしているかここでしっかりと監視しているんだよ。



水だけで本当に「芦沼」だね。

亀田郷土地改良区で昔の亀田郷について学ぶ

足が重くてなかなか進めないな。昔は、腰までつかって作業していたんだから、大変なんでもんじゃないだろうな。



学校田での田植え

この体勢で全部植えるのは、腰が痛くなってかなり大変だろうな。



学校田での稲刈り

田んぼが乾いていて作業がしやすいね。

収穫祭での発表

子どもの声



ドジョウを調べたり飼ったりして、少なくなった亀田のドジョウがこれから増えてほしいと思いました。また、環境の学習で、福島潟にはたくさんの生き物や植物がいることが分かりました。早通の自然が福島潟よりもよくなって、ドジョウや生き物が増えてほしいと思いました。



ドジョウについて調べていくと、ドジョウはいろいろなものを食べることが分かりました。人間が食べるものを食べることができるということも分かりました。これからもドジョウが生きているようなきれいな早通でいてほしいです。



私は、亀田郷は、昔、腰まで水につかって米作りをしていたのは分かっていましたが、亀田郷土地改良区で「芦沼」「地図にない湖」と聞き、昔の航空写真を見て、その通りだなと思いました。昔こんな大変なことがあったから今の亀田郷があるので、これからも亀田郷を大切に住んでいきたいです。



ぼくは、田植えや稲刈り体験をして、今とはちがって機械もない昔の田植えや稲刈りは大変だったことを実感しました。それに、亀田郷は昔、腰までつかるほどだから、足取りも重いし服もぬれちゃったんだろうなと思いました。今は、田植えや稲刈りが楽になるようになってすごいなと思いました。